

知財戦略説明会

2022年7月7日 旭化成株式会社

- 01** 前中期経営計画に整合した知財活動
- 02** 新中期経営計画達成に向けた知財・無形資産活用戦略
- 03** 次の成長事業「GG10」の加速に向けた知財・無形資産活用例

01 前中期経営計画に整合した知財活動

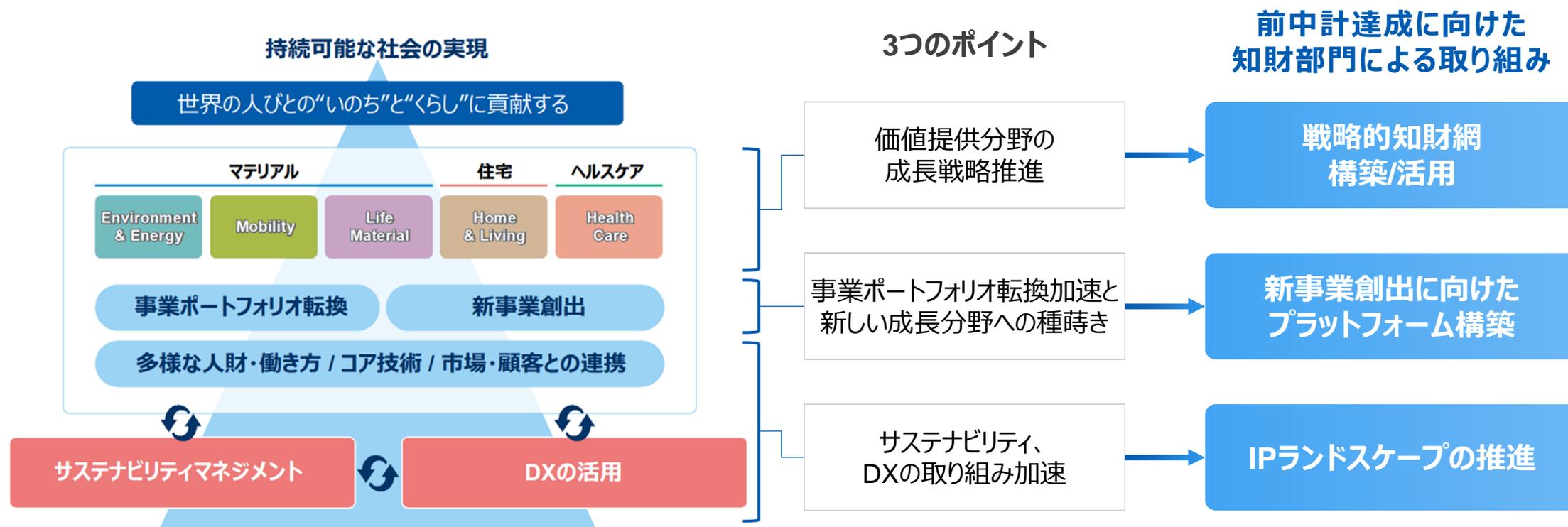
02 新中期経営計画達成に向けた知財・無形資産活用戦略

03 次の成長事業「GG10」の加速に向けた知財・無形資産活用例

2021年度までの振り返り

2021年度までは、前中期経営計画の、特に3つのポイントに整合した知財活動を実施してきた。

前中期経営計画価値提供アプローチ



出所：前中期経営計画“Cs+ for Tomorrow 2021”

前中計達成に向けた知財部門による取り組み

前中計達成に向けた 知財部門による取り組み

戦略的知財網 構築/活用

リチウムイオン電池用セパレータ特許侵害訴訟

原告 旭化成株式会社 **被告** X社

概要 深圳市中級人民法院へ特許侵害品の販売差止めと損害賠償（100万元）を求めて提訴

結果 **当社の主張が全て認められた**



「ハイポア™」

新事業創出に向けた プラットフォーム構築

IPランドスケープの推進

IPランドスケープを活用した顧客開拓

概要 当社電流センサーの「高速応答」「低発熱」の強みを訴求できる領域を、特許情報を分析することにより特定し、技術力を有する企業を有望顧客として抽出

結果 **当社製品の強みを訴求できる市場を開拓**



anticipate the current flow

Currentier™

電流センサー

前中計達成に向けた知財部門による取り組み

前中計達成に向けた 知財部門による取り組み

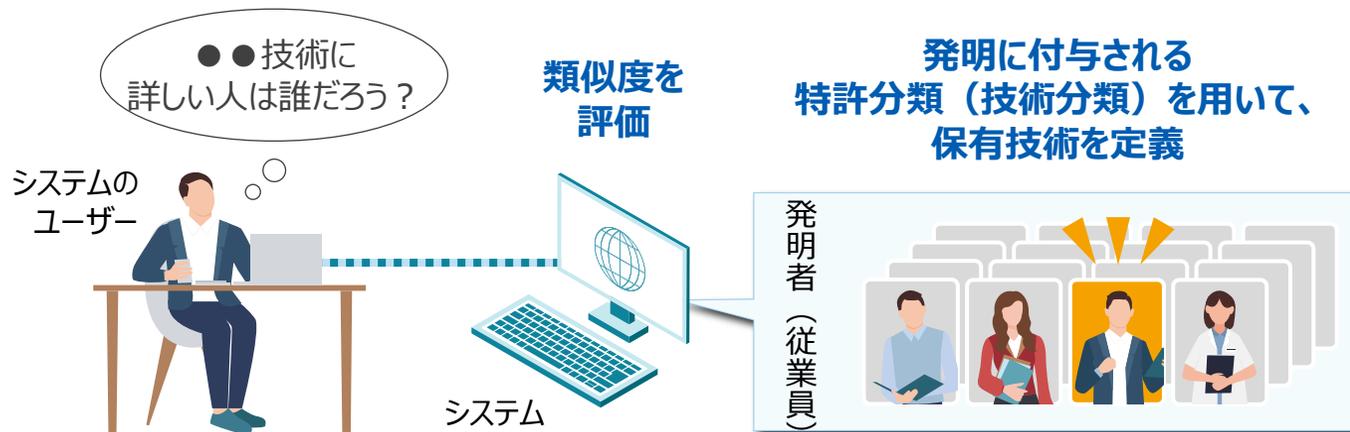
戦略的知財網
構築/活用

新事業創出に向けた
プラットフォーム構築

IPランドスケープの推進

人財レコメンドシステム

旭化成の多様性という特長を活かした、
社内人財（有識者・専門家）をつなぐプラットフォームを構築中



異なる領域の個人同士のつながりをサポートし、コミュニティを創出

知財活動の実績（表彰）

知財活動が評価され、2021年度「**知財功労賞**」**経済産業大臣表彰**を受賞。

2022年度も「**DX銘柄2022**」に選定（2年連続）された。DXを推進し、知財活動に取り組んでいる。

令和3年度 知的財産権制度活用優良企業等表彰 知財功労賞 経済産業大臣表彰

知財功労賞

経済産業省特許庁が、知財制度を有効に活用し、円滑な運営・発展に貢献のあった企業等に対して行っている表彰



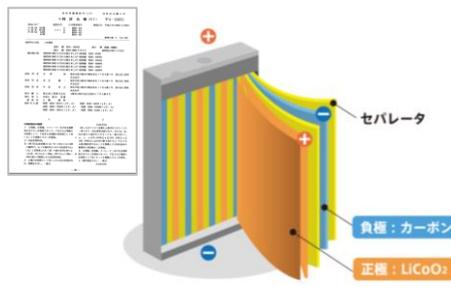
表彰式の様子



吉野名誉フェロー

受賞ポイント

- 恒久的な知財ミッション
- IPランドスケープ
- 研究者の高い知財マインド



リチウムイオン電池の基本特許（特許第1989293号）

「DX銘柄2022」に選定（2年連続）



DX銘柄

経産省が東京証券取引所と共同で実施。企業価値の向上につながるDXを推進するための仕組みを社内に構築し、優れたデジタル活用の実績が表れている企業を業種ごとに選定。2022年度の選定企業は33社。

受賞ポイント

- 継続的な業務革新
（IPランドスケープの取り組み等）
- 新たなビジネスモデル創出
- デジタル人材育成化計画

**DXを推進して
知財活動に
取り組んでいる**



「DX Vision 2030」を策定



水素製造プラントにおけるデジタルツインの導入

01 前中期経営計画に整合した知財活動

02 新中期経営計画達成に向けた知財・無形資産活用戦略

03 次の成長事業「GG10」の加速に向けた知財・無形資産活用例

新中期経営計画 2024 ~Be a Trailblazer~ 基本方針、経営基盤

“挑戦的な投資”と“キャッシュ創出”の両輪を回すことを事業ポートフォリオ進化の基本指針として据えている。変革に向けて取り組む4つの重要テーマの1つとして、“無形資産の最大活用”を掲げている。

事業ポートフォリオ進化の基本指針



スピード

アセットライト

高付加価値

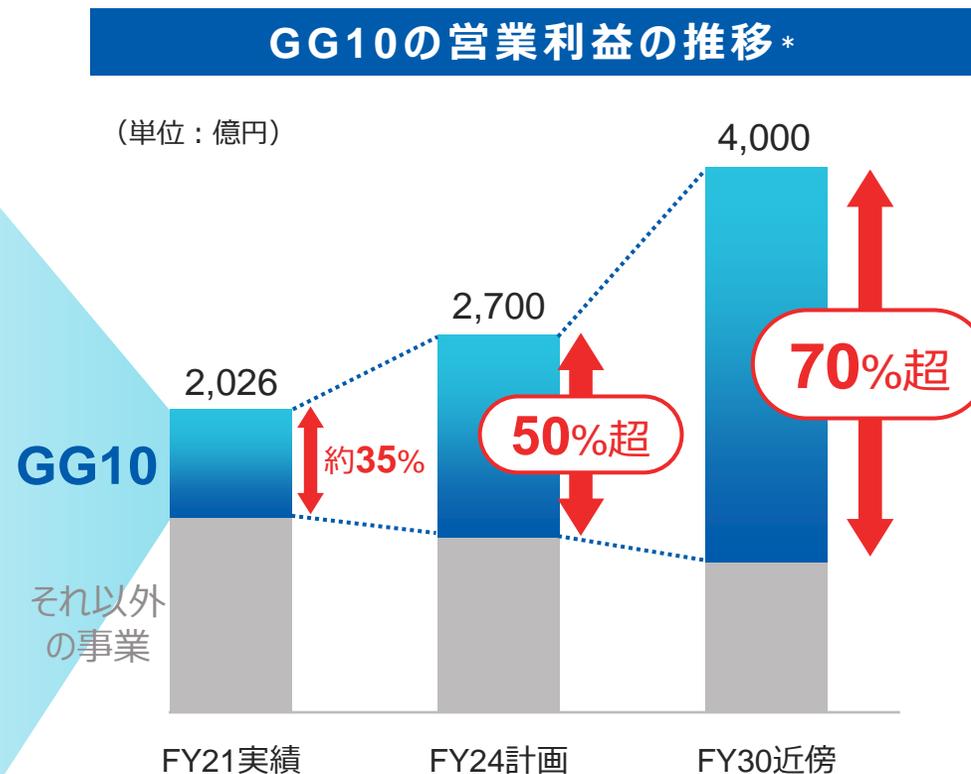
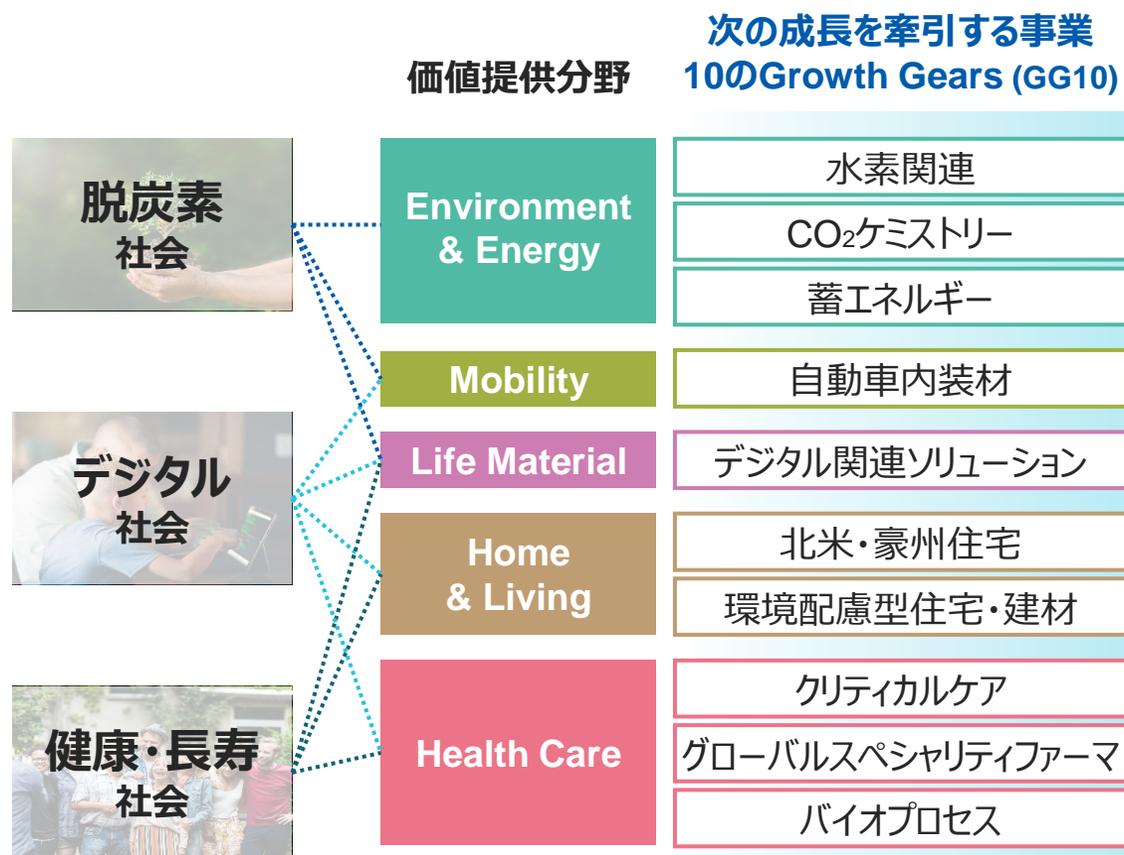
スピード、アセットライト、高付加価値の視点における事業ポートフォリオの進化を加速させる手段として知財・無形資産の活用戦略の重要性が増す

経営基盤強化に向けて取り組む4つの重要テーマ



成長戦略

次の成長を牽引する10のGrowth Gears（GG10）へ重点的にリソースを投入し、2030年近傍で営業利益の7割超を占める形を目指す。

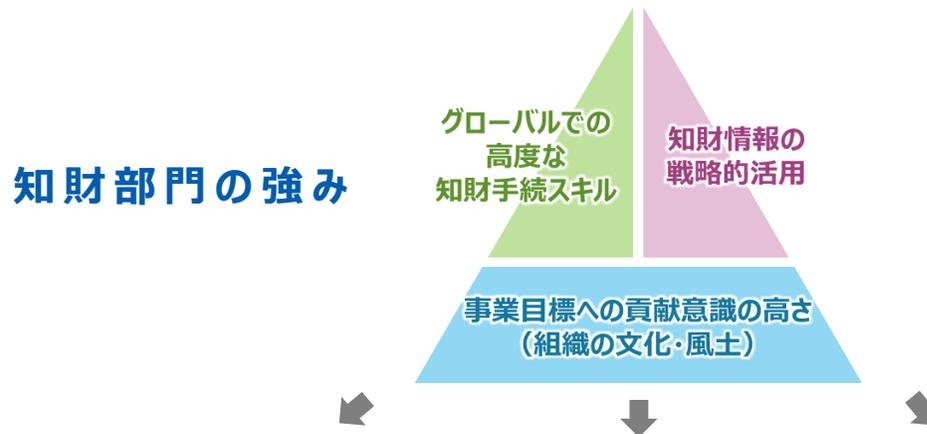


* GG10比率は本社共通費などを除く、事業利益に占める割合で算出

出所：中期経営計画2024 ～Be a Trailblazer～

知財戦略 [知財・無形資産活用基本方針]

経営・事業方針にタイムリーに呼応し、多様な自社の無形資産を最大限に活用することで、戦略構築や新事業創出を目指す。2022年4月に知財インテリジェンス室を設置し、グループ全体での無形資産の活用をさらに加速。



知財・無形資産の活用により **GG10の成長を目指す戦略**を構築・実行

知財戦略 [知財・無形資産活用基本方針]

経営・事業方針に
タイムリーに呼応



多様な自社知財の
価値最大化



IPLを活用した自他社の
無形資産の可視化



経営・事業方針に呼応した知財活動

中計3つのポイント

価値提供分野の中期的
成長に向けた取り組みを推進



戦略的知財網
構築/活用

次の旭化成の柱となり得る
技術開発・事業化を加速



新事業創出に向けた
プラットフォーム構築

Green/Digital/People
視点での取り組み強化



IPランドスケープの推進

中計達成に向けた
知財部門による取り組み

経営・事業戦略推進に伴う知財組織体制の確立



経営戦略に呼応する知財インテリジェンス室を設立し、
知財部門横断で中計を推進

知財戦略 [知財・無形資産活用基本方針]

経営・事業方針に
タイムリーに呼応



多様な自社知財の
価値最大化



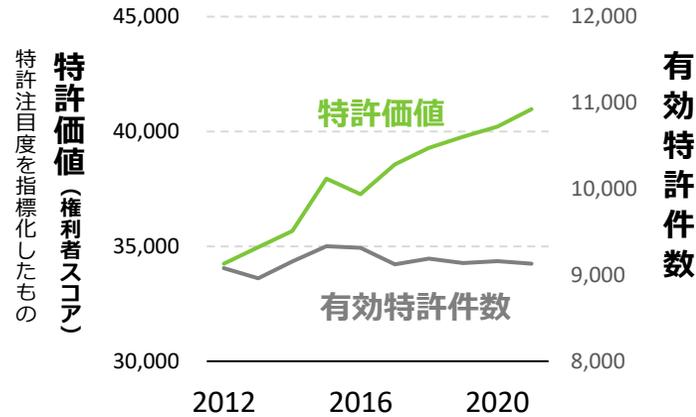
IPLを活用した自他社の
無形資産の可視化



知財活動サイクル



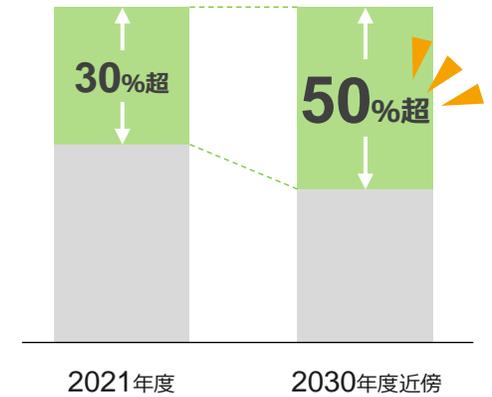
特許価値（権利者スコア）の向上



Patent Result社 Biz Cruncher®を用いて当社作成

非財務KPIの達成

GG10関連有効特許件数の割合



参考 特許が出願されてから満了するまで
(日本のケース)



SDGs観点からみた特許価値の優位性

経営・事業方針にタイムリーに呼应

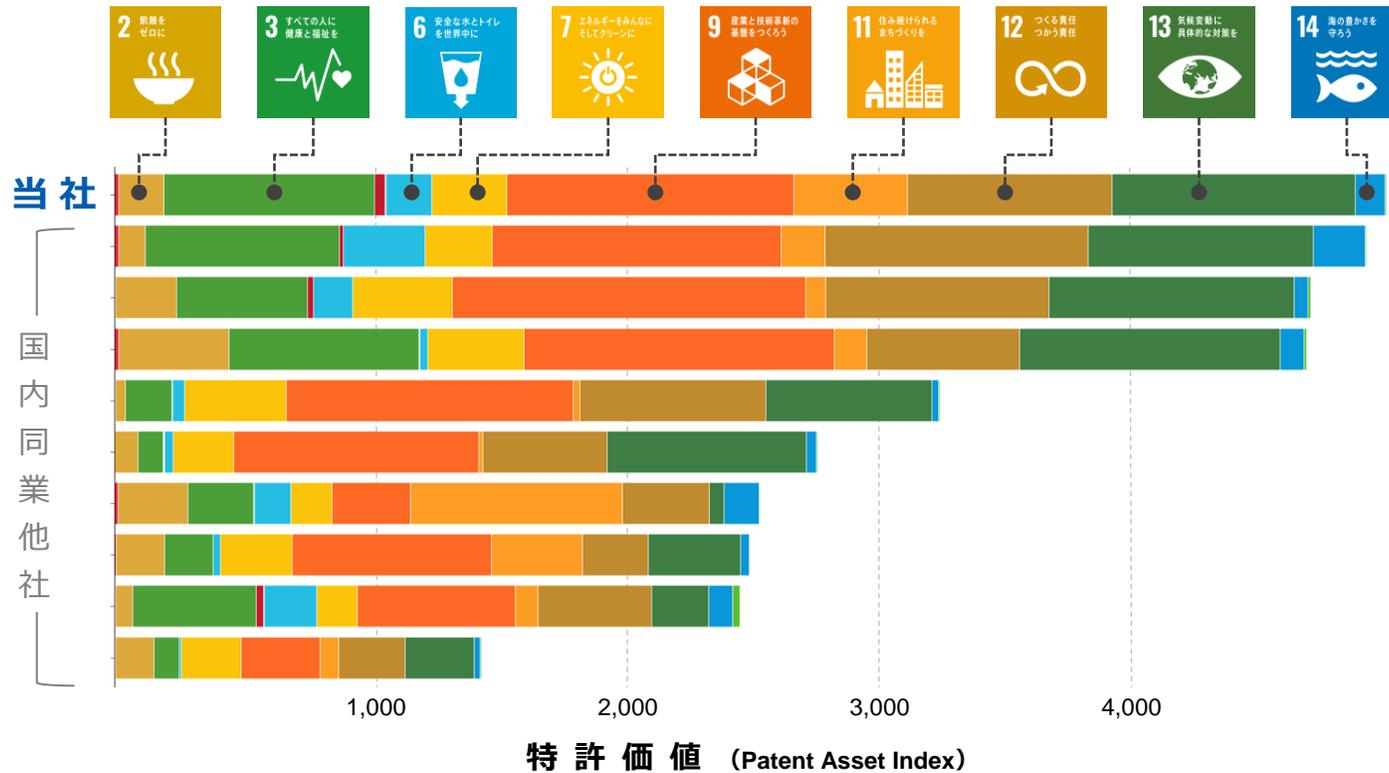
多様な自社知財の価値最大化

IPLを活用した自社の無形資産の可視化

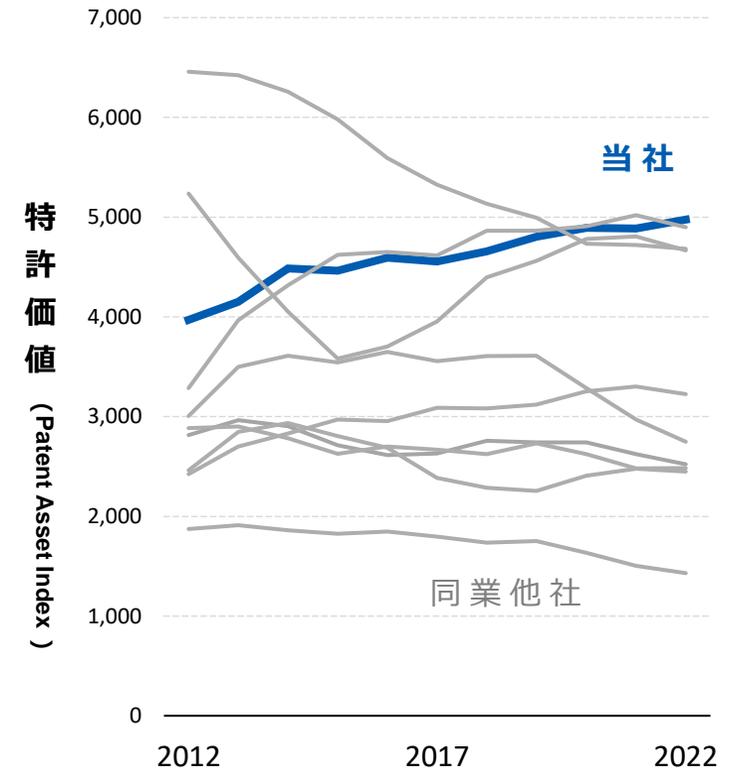
SDGsの課題に対応した多くのコア・テクノロジーを有し、その特許価値が他社に比して高い。

同業他社のSDGs関連特許価値 (Patent Asset Index : PAI)

旭化成は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



SDGs関連特許価値 (PAI) の推移

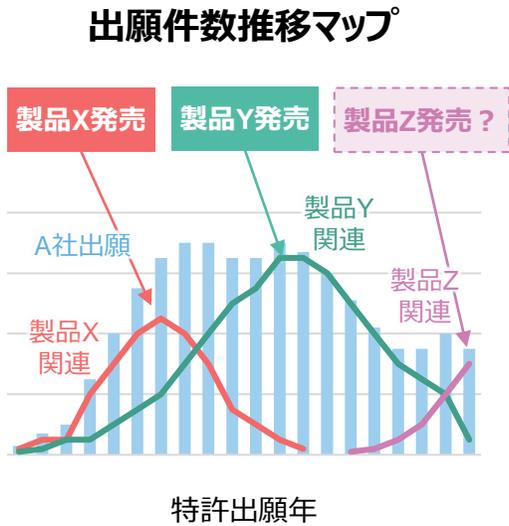


LexisNexis社 PatentSight®を用いて当社作成

知財・無形資産の可視化の例

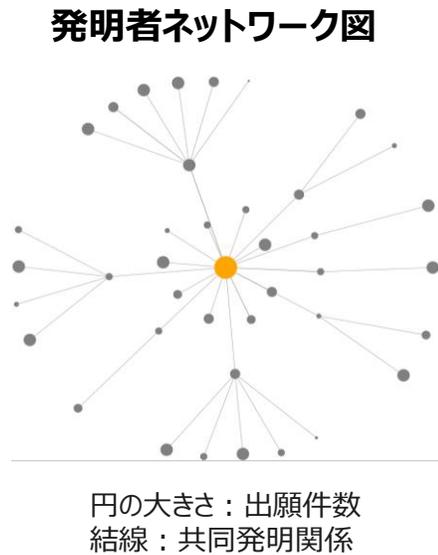
経営・事業方針にタイムリーに呼応  × 多様な自社知財の価値最大化  × IPLを活用した自他社の無形資産の可視化 

知財情報統計 (従来型特許マップ)



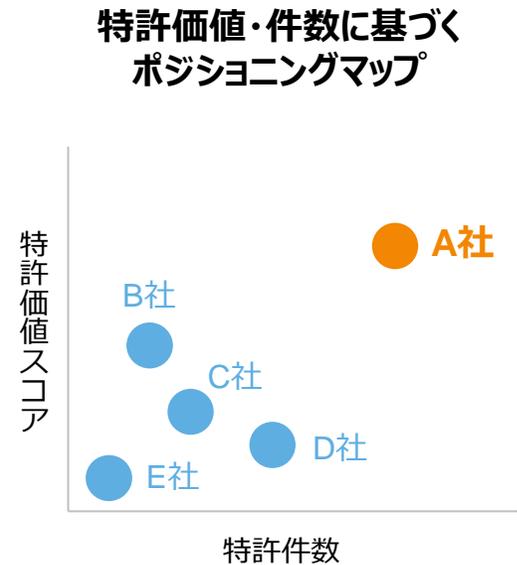
製品ライフサイクル(*)の予測
(※導入/成長/成熟期等)

ネットワーク情報



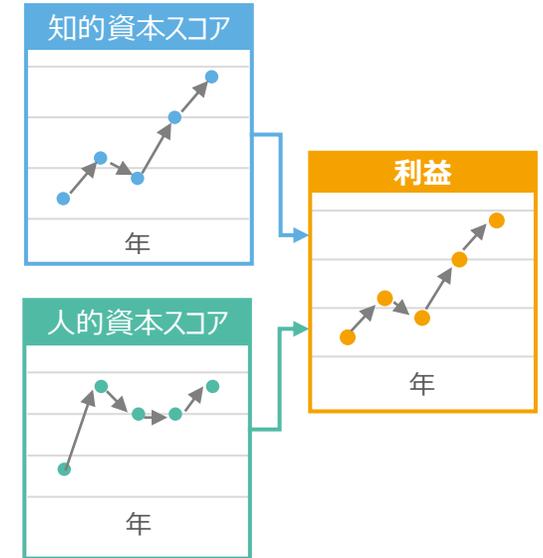
イノベーター
(技術キーマン) の発掘

知財価値評価



業界内のポジション把握

経営指標と 知財指標の関連性



企業価値向上に資する
無形資産の把握

知財戦略 [知財・無形資産活用基本方針]

経営・事業方針に
タイムリーに呼応



多様な自社知財の
価値最大化



IPLを活用した自他社の
無形資産の可視化



STEP01 事業環境分析

サプライチェーンを俯瞰した業界動向分析

技術トレンド

主な出願人

STEP1
自動運転技術



自動車
メーカー

STEP2
カーシート技術



Tier1企業

STEP3
内装材技術

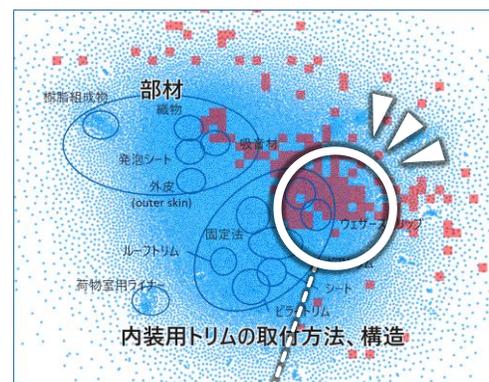


Tier2
(or1)企業

STEP02 注目技術の抽出

トレンド分析による将来予測

内装材技術俯瞰



出願が急増している領域を分析し、
有望技術を抽出

STEP03 シナジー検討

旭化成－Sage社の共同テーマ検討

開発テーマ・パートナー

SAGE
Automotive Interiors



AsahiKASEI

Sage社と旭化成による
共同開発の検討がスタート

知財戦略活動の具現化イメージ

経営・事業方針に
タイムリーに呼応



多様な自社知財の
価値最大化

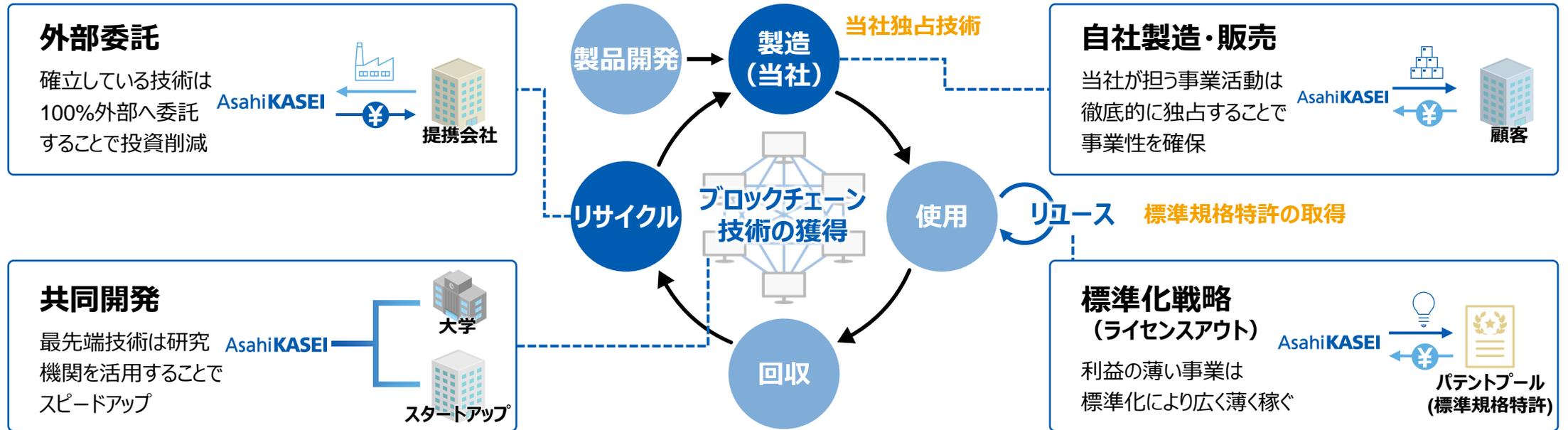


IPLを活用した自他社の
無形資産の可視化



サーキュラーエコノミー市場における無形資産の価値最大化戦略

市場設計を主導することで、市場形成の加速と、事業性の確保を両立させる。



01 前中期経営計画に整合した知財活動

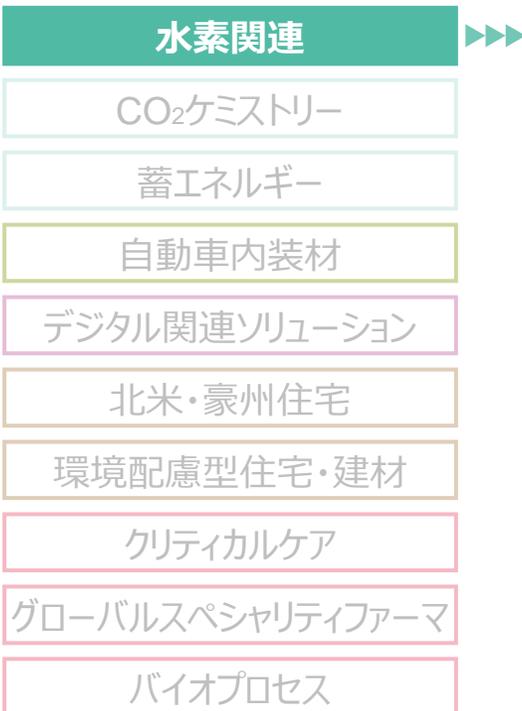
02 新中期経営計画達成に向けた知財・無形資産活用戦略

03 次の成長事業「GG10」の加速に向けた知財・無形資産活用例

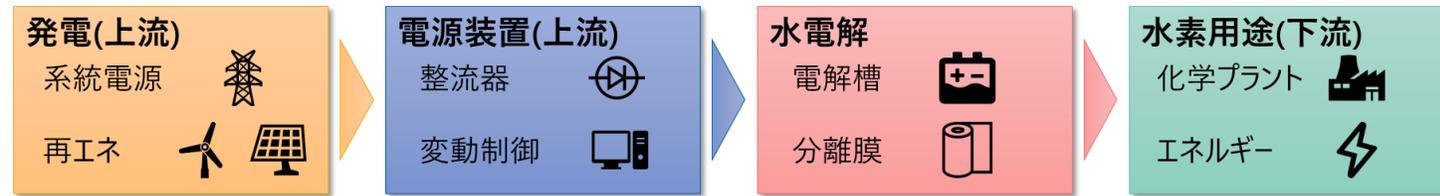
水素関連事業における貢献

アルカリ水電解技術を軸に水素ビジネスへ進出するべく、**STEP1：公開情報から水素ビジネス全体を俯瞰**し、**STEP2：IPLにより競合戦略をベンチマーク**、**STEP3：無形資産を活用したビジネス戦略を構築**している。

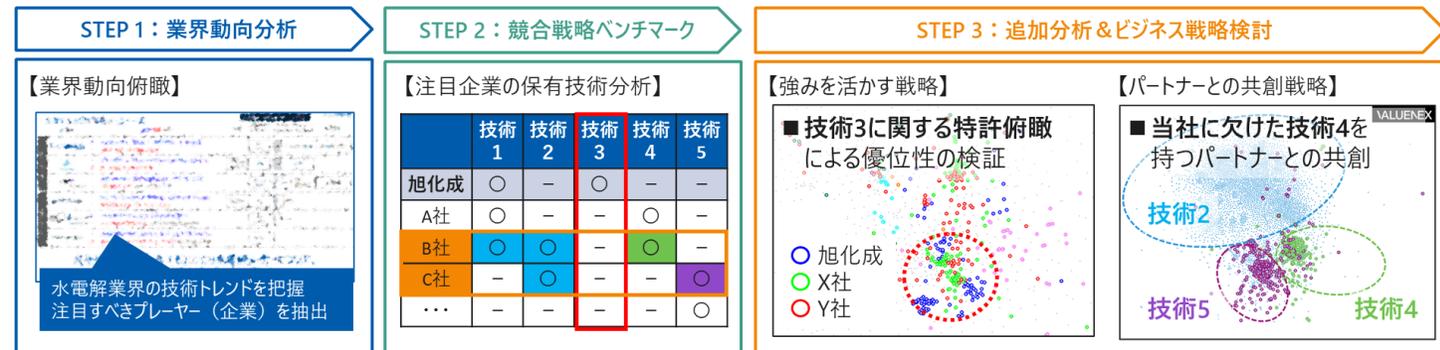
次の成長を牽引する事業
10のGrowth Gears (GG10)



アルカリ水電解ビジネスのバリューチェーン例



水素ビジネス戦略の検討フロー



自動車関連事業における貢献

当社技術と自動車メーカー（OEM）の技術との関係性をIPLにより可視化することで、OEMとのビジネスコミュニケーションを活性化させている。

次の成長を牽引する事業
10のGrowth Gears (GG10)

- 水素関連
- CO₂ケミストリー
- 蓄エネルギー
- 自動車内装材**
- デジタル関連ソリューション**
- 北米・豪州住宅
- 環境配慮型住宅・建材
- クリティカルケア
- グローバルスペシャリティファーマ
- バイオプロセス

領域別事業戦略 | マテリアル

3-2 新中期経営計画 2024 ~Be a Trailblazer~
領域別事業戦略 | マテリアル (Mobility) AsahiKASEI

自動車内装材関連およびEV向けの製品の展開を通じた成長を目指す

ソリューションを提供する5分野

Body 軽量化	Interior & Comfort 快適性の向上	Safety 性能の強化	E-Drivetrain 燃費・電費向上	ICE コストの最適化
--------------------	---	------------------------	--------------------------------	-----------------------

Dinamica スエード調人工皮革
技術高度化により環境対応を進めて人工皮革No.1ブランドへ
リサイクル原料使用比率の高い商品
Dinamica® AutoPure... 73%
有機溶剤不使用

SAGE 自動車内装材
自動車内装材 Tier2のトップサプライヤーのポジションを更に強固にする
Adient社ファブリック事業 (FY20買収) を活用した市場展開加速
Sage社の売上向上

天井・シート・ドアパネル等に使用
先行する環境対応の更なる進化を目指す

800億円 FY21見直し
1,000億円 FY24計画

多様な技術・知見を掛け合わせてEV向け製品のコンセプト提案を進め、自動車OEMの開発パートナーとして価値を提供する

軽量化かつ安全な、車載リチウムイオン電池向け製品

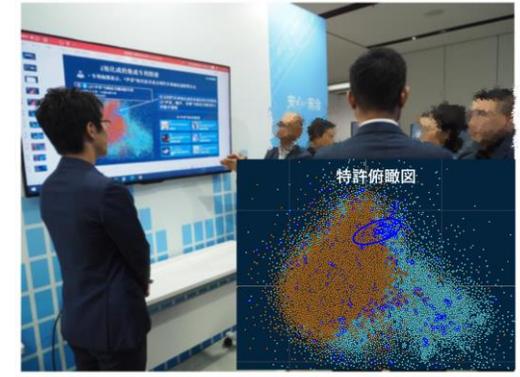
モジュールケース 「ザイオン」 上部
バスバーカバー 「ザイオン」 内部電子部品ホルダー「サンフォース」
エンドプレート 「レオナ」「ザイオン」 コネクタ 「レオナ」

「ザイオン」: 難燃かつ低比重の特性を活かし、軽量化に貢献する変性PPE樹脂
「サンフォース」: 難燃性、寸法精度等の従来の発泡体を超越した機能を併せ持つ変性PPE発泡体
「レオナ」: 高強度・高剛性等により金属代替を実現するポリAMID樹脂

出所：中期経営計画2024 ~Be a Trailblazer~

中国OEMへの新たな取り組み

- 当社製品の展示会にて、IPLの解析結果から当社とOEMの共通点を可視化して展示



- OEMへ貢献できるポイントを効果的に伝えることで、OEMとのビジネスコミュニケーションを活性化させている

環境配慮型住宅関連事業における貢献

ZEH-M賃貸住宅「Ecoレジグリッド」の普及に向け、エネルギーマネジメント・電力売買に関する領域において自他社のポジショニングを意識しながら網羅的な特許網を構築し、事業保護・拡大を目指している。

次の成長を牽引する事業
10のGrowth Gears (GG10)

水素関連

CO₂ケミストリー

蓄エネルギー

自動車内装材

デジタル関連ソリューション

北米・豪州住宅

環境配慮型住宅・建材

クリティカルケア

グローバルスペシャリティファーマ

バイオプロセス

事業方針

Ecoレジグリッド普及加速

電力の
地産地消促進



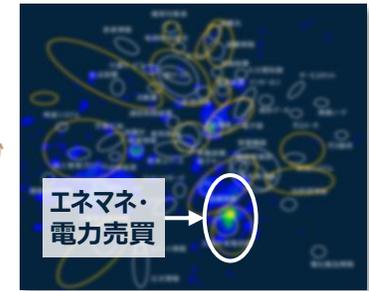
カーボンニュートラル
達成を目指す



事業環境分析

IPLによるZEH関連技術俯瞰

事業動向俯瞰により
自他社のポジショニング
を意識する



戦略的出願

Ecoレジグリッド特許網の要素

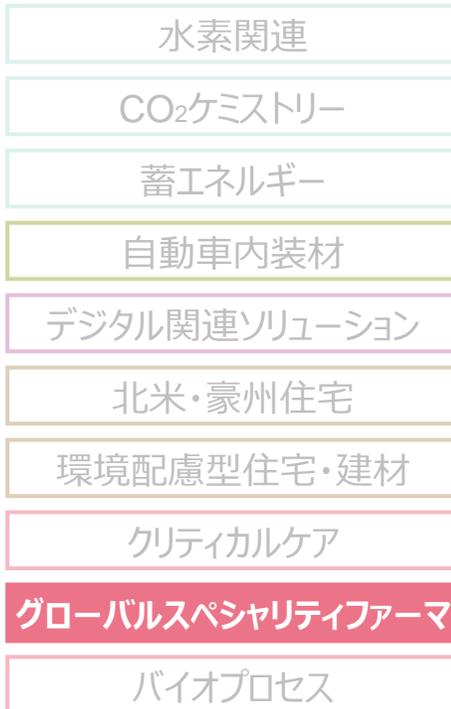
事業コア技術と応用技術との掛け合わせにより特許網を
充実化



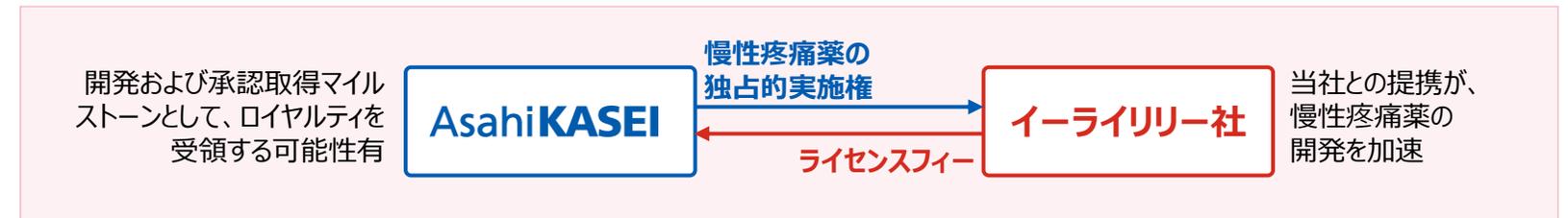
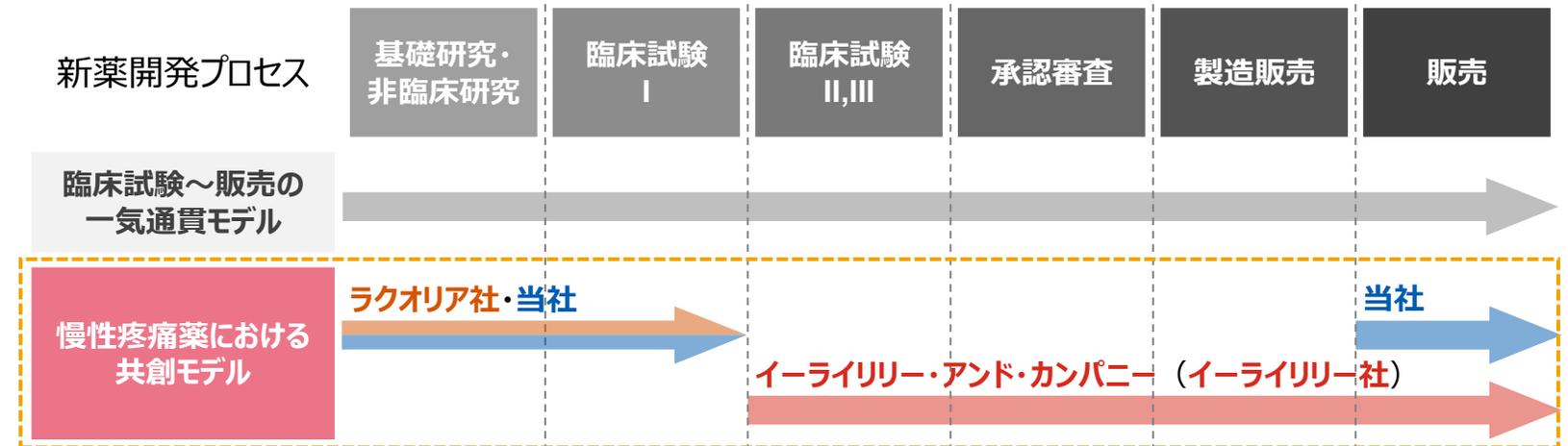
グローバルスペシャリティファーマ関連事業における貢献

旭化成ファーマにて開発を手掛けた慢性疼痛薬について、イーライリリー社が独占的实施権を取得するライセンス契約を締結。同社との共創により開発を加速し、当社は日本等での販売権とグローバルでの販売ロイヤルティ受領権を確保。

次の成長を牽引する事業
10のGrowth Gears (GG10)



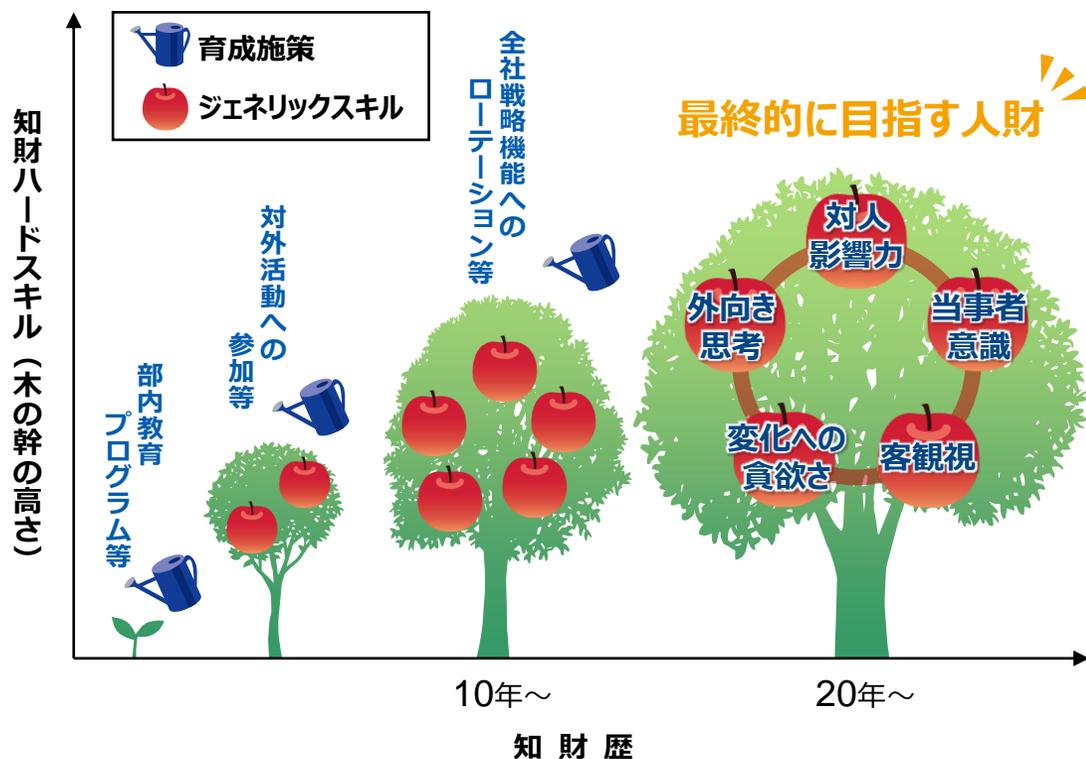
新薬開発成果（特許含む）ライセンスによるマネタイズ



あるべき姿の達成に必要な知財部門員の終身成長モデル

「知財ハードスキル及びジェネリックスキルを兼ね備えた人財」を知財部門の目指す人財像として設定している。
知財専門家の育成により高度専門職を拡充する。

知財部門員の終身成長イメージ



全従業員に対する知的財産教育

全従業員に向けて各役割に必要な知財技能を設定し、これを身に着けるために必要な教育の場を設けている。

教育内容は常に見直しを行っており、近年では、DX推進活動へ対応するために欠かせない、DX発明に特化したコースも新設している。

対象	全社教育		領域別教育		
	集合研修	Eラーニング	集合研修		
リーダー層	戦略コース	DX 発明コース	知識習得コース	明細書作成コース	事業領域毎に設計
実務者層	事務系基本				
	技術系基本				
新入社員	新入社員研修				

参考

知財活動による経営・事業貢献の見える化

～ 経営指標と知財指標との相関分析トライアル～

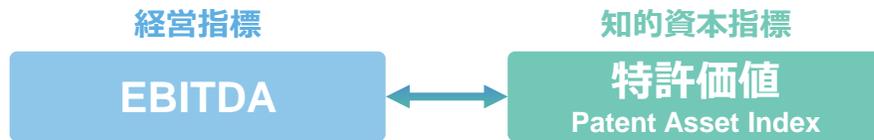
経営・事業方針にタイムリーに呼应

多様な自社知財の価値最大化

IPLを活用した自他社の無形資産の可視化

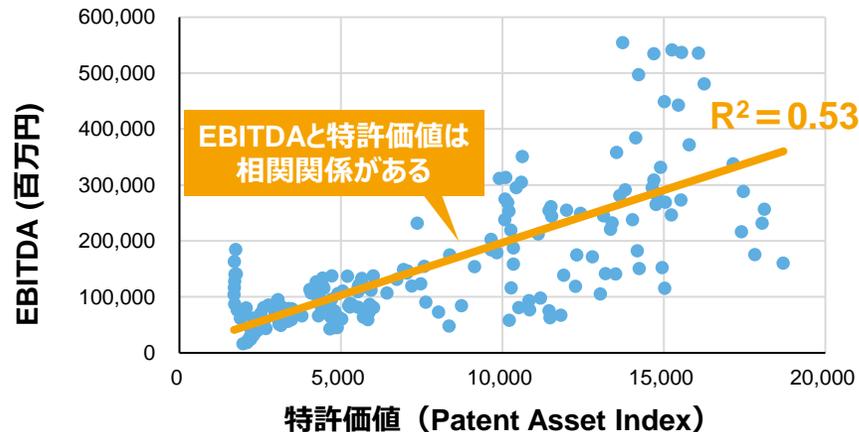
経営指標と知財・無形資産指標の関係性の分析を開始。同業界において、EBITDAと特許価値（Patent Asset Index）の間には相関関係が認められる。当社は特許価値を伸ばしており、EBITDAも伸びている。

同業他社 EBITDA vs. 特許価値

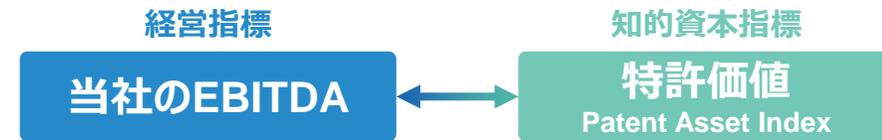


同業界におけるEBITDAと特許価値の相関

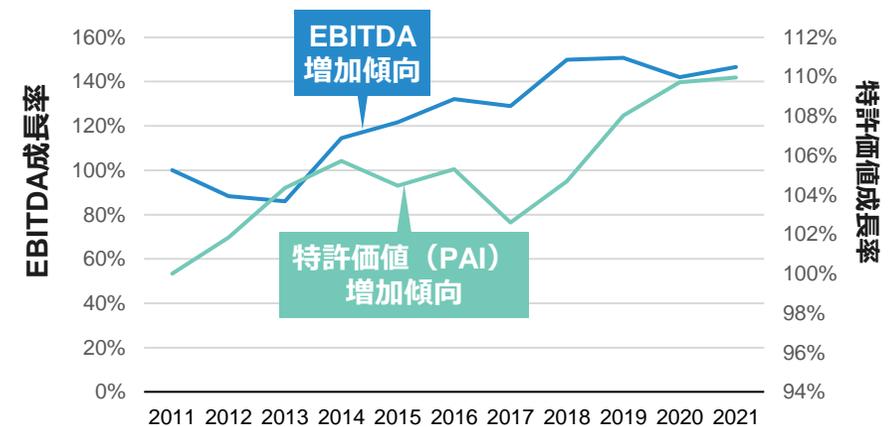
※同業界20社の直近10年の値をプロット



当社分析結果



当社のEBITDAおよび特許価値の推移



LexisNexis社 PatentSight®を用いて当社作成

AsahiKASEI

昨日まで世界になかったものを。

私たち旭化成グループの使命。

それは、いつの時代でも世界の人びとが“いのち”を育み、

より豊かな“暮らし”を実現できるよう、最善を尽くすこと。

創業以来変わらぬ人類貢献への想いを胸に、

次の時代へ大胆に応えていくために一。

私たちは、“昨日まで世界になかったものを”創造し続けます。

